

事業協働機関の紹介



和歌山大学
COC+推進室(紀の国大学事務局)
TEL.073-457-7137
TEL.073-457-7147
cocedu@center.wakayama-u.ac.jp



大阪市立大学
プロジェクトマネジメントオフィス
TEL.06-6605-2068
pmo-coc@ado.osaka-cu.ac.jp



大阪府立大学
地域連携室COC事務局
TEL.072-254-8309
cocinfo@ml.osakafu-u.ac.jp



摂南大学
教務部教務課
TEL.072-839-9106
SETSUNAN.Kyomu@joshu.ac.jp



和歌山工業高等専門学校
COC事業事務局
TEL.0738-29-2301
coc-project@wakayama-nct.ac.jp



和歌山信愛女子短期大学
きょう育の和センター
TEL.073-479-3330
kouhou@shinai-u.ac.jp

和歌山県(窓口) TEL.073-441-2108

和歌山県経営者協会 TEL.073-431-7376

紀陽銀行 TEL.073-426-7126

和歌山県中小企業団体中央会 TEL.073-431-0852

協力校の紹介

和歌山県立医科大学
TEL.073-441-0801

近畿大学(生物理工学部)
TEL.0736-77-3888

関西大学
TEL.06-6368-1121

紀の国大学

地域・企業・自治体の皆さまへ

紀の国大学へのご参加・ご協力をお願い

「わかやま」ならではの多様な暮らしで、『未来』をつくる



紀の国大学

伊都郡九度山町慈尊院

紀の国大学へのご参加・ご協力をお待ちしています

地域の力を結集し、「わかやま」で「わかもの」を育てたい

文学、教育学、経済学、工学、理学…、既存の教育・研究の枠組みにとらわれず、和歌山の未来を切り拓く新たな知見を得るために、学生たちが「わかやま」という広いキャンパスへと飛び出します。

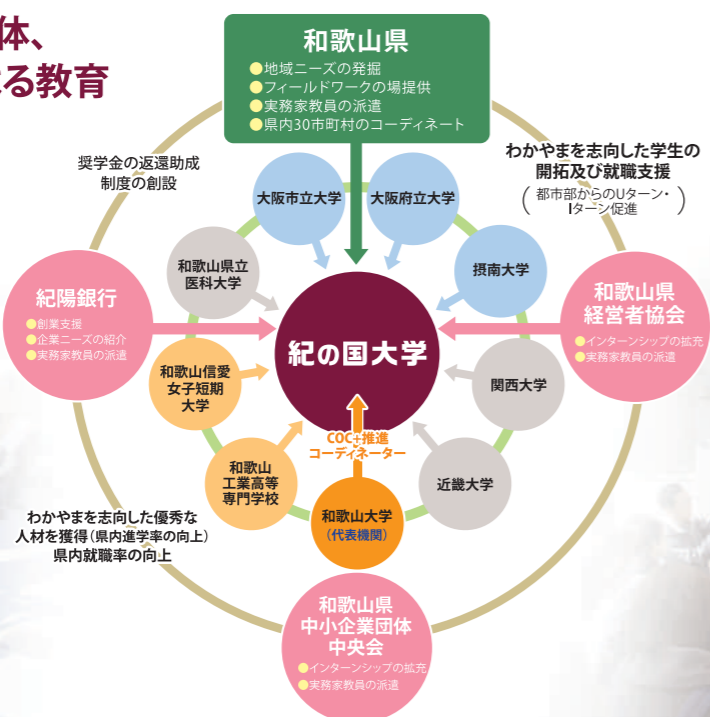
「わかもの」を「わかやま」へ

紀の国大学では、各地から集まった学生達が地元の自治体・企業・団体の皆さまと出会い、課題を分かち、ともに考え、ともに「はたらく」ことで、地域と皆さんを元気にしていきます。

はるかな「わかやま」を想像し、ときめく「わかやま」を創造する

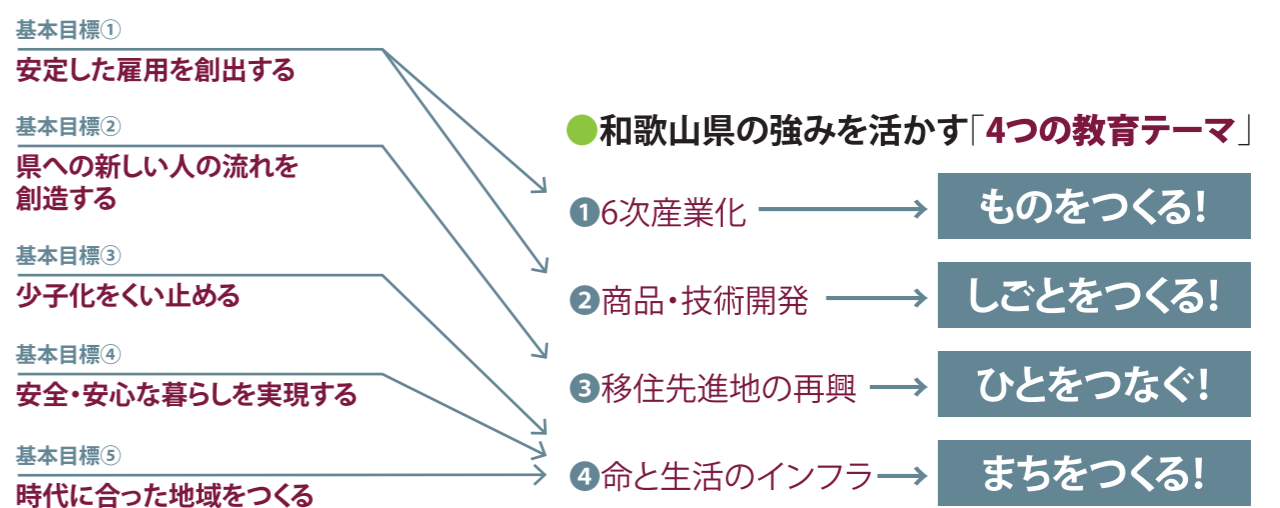
紀の国大学参加各校では、学生に「わかやま学」を共通の科目とし、和歌山の歴史・文化・風土について学びます。また、和歌山県の地方創生のテーマとなる様々な課題を現場の事例に即して考えるための基礎知識を修得します。それらをふまえた学生達が、実際に地域へと飛び込んでいき、地域の皆さんと出会い、地域の「いま」を知り、直面している課題を発掘します。学生たちは皆さんと課題を共有しながら、大学と地域がそれぞれもっている知を結びつけた新たな知を提供して、課題解決を模索します。

大学、地方公共団体、企業等の連携による教育



地方創生推進事業「紀の国大学」の目標

●和歌山県総合戦略の「5つの基本目標」(和歌山県まち・ひと・しごと創生総合戦略)



●アウトカム(目標指標)「3つの目標」

[短期] 地元就職増	[中短期] 雇用創出増	[中期] 定住人口増
------------	-------------	------------

地(知)の拠点大学による地方創生推進事業「紀の国大学」の目標

区分	平成26年度	平成31年度
事業協働地域(和歌山県)へのインターンシップ参加(うち和歌山大学)	158人 68人	400人 106人
事業協働地域(和歌山県)就職率(うち和歌山大学)	8%	18%
事業協働機関雇用創出数	0人	10人

紀の国大学協議会会長あいさつ



紀の国大学は、文部科学省の推進する「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」の認定を受け、和歌山県の地域課題解決を推進する共同事業体です。「地元の人々・企業・自治体を元気にする人材」「地元で活躍できる人材」を育成すべく、県下全域をキャンパスとして、学生教育を展開して参ります。皆様方には、これまで培ってこられた知見を、授業の場で学生達にご提供いただければと思います。また、学生達を現場に受け入れていただき、より実践的な知見をご教授いただきたくお願い申し上げます。紀の国大学はこれから地域と学生が互いに助け合いながら、わかやまの未来を切り開いていく事業です。ご参加、ご協力をよろしくお願ひ申し上げます。

「紀の国大学」参加・協力をお願い

- 地域の皆さんへ(現場での実践的教育の受け入れ、セミナー講師派遣)
- 企業の皆さんへ(インターンシップの受け入れ、セミナー講師派遣)
- 自治体の皆さんへ(まちづくり参画の受け入れ、セミナー講師派遣)

紀の国大学

和歌山県全域をキャンパスに!

紀の国大学 平成28年度 プロジェクトマップ

プロジェクトa

紀伊半島の地域再興の学修(地域実践演習Ⅲ)

担当者	大阪市立大学 水内俊雄(都市研究プラザ・文学部教授) 祖田亮次(文学部准教授)
活動場所	和歌山市、御坊市、日高町、日高川町
協働先	和歌山大学、和歌山県、和歌山市、御坊市、日高川町

和歌山県のさまざまな地域課題に接することにより、日本の地方が抱える問題のエッセンスを掴むことを主眼とした紀伊半島の地域再興の学修を実施しております。今回は、『すごい人に出会う、そして場所の力を体感する』をテーマに、地方中心県庁所在地都市・和歌山市と日高川河口小中心都市・御坊と、その流域・日高郡をフィールドとしたスタディツアーを行いました。学生が地域の課題を認識し、まちづくりについて考える力を養うことを目的としています。

プロジェクトb

いのちを守る都市づくり(地域実践演習Ⅱ)

担当者	大阪市立大学 生田英輔(生活科学部講師) 三田村宗樹(理学部教授)
活動場所	御坊市、美浜町
協働先	和歌山大学、御坊市

南海トラフ巨大地震による津波浸水や震動災害に想定される地域の災害リスクや災害対策を知るため、御坊市と美浜町で、まち歩きを通して、スタディツアーを実施しました。コミュニティ防災の基礎について実践を通じて学ぶことにより、地域の防災リーダーとして活躍できる能力の取得を目的とします。

プロジェクトc

QOLプロモーション演習

担当者	大阪市立大学 西川禎一(生活科学部教授)
活動場所	広川町、日高川町、紀の川市、九度山町、海南市、高野町、紀美野町、古座川町など
協働先	和歌山社会経済研究所

食品・居住・福祉の3つの分野で複合的な教育資源を有する生活科学部の学生が、生活者のQOL(生活の質)を高めるため、地域ニーズの把握を行い、地域とのパートナーシップのもと問題解決にあたる体験型実践的演習を、継続的に実施しています。甘夏、ウメ、桃、イチゴ、ブラックベリー、柿、栗、温州みかんの収穫、こんにゃく、ニンニク、サツマイモの植付け、自然農法による酒米づくり、田植えなどの援農活動を通じて、地域に密着し、地域の活性化を目指しています。

プロジェクトd

実践的教育プログラム 卒業研究・生活文化ゼミ

担当者	和歌山信愛女子短期大学 全教員
活動場所	和歌山市(和歌山信愛女子短期大学「ふれ愛ルーム 木のおうち」)
協働先	和歌山市、和歌山大学、和歌山県立医科大学

和歌山市と連携した学内の子育て支援施設「ふれ愛ルーム木のおうち」をフィールドに、保育・食育プログラムを計画・実践。親子との交流、聞き取り調査を通じて、地域の課題を理解し、子育て・子育てを支援できる実践力育成を目指します。

プロジェクトe

高野山麓はしもとインターカレッジ・コンペディション2016

担当者	和歌山大学 金子泰純(システム工学部教授) 藤田和史(経済学部准教授) 摂南大学 田井義人(経済学部准教授)
活動場所	橋本市
協働先	橋本市、紀陽銀行、近畿大学

橋本市が主催する学生コンペディションに参加し、特産品のブランド化や新商品の開発、地場産業の振興、農林業の再生を推進する活動です。今年度は、4大学6チームが参加し、橋本市の活性化につながる提案を行いました。



紀の国大学

地域志向キャリアセミナー

① [企業] × [学生] 交流会(和歌山市)

プロジェクト一覧

和歌山大学プロジェクト

- ① 6次産業化実践(紀の川市)
- ② 家庭用品イノベーション(海南市)
- ③ 地域づくり戦略構想(紀の川市、田辺市、上富田町)
- ④ 自立・地域共生推進(新宮市)
- ⑤ 地域資源を生かした 生業づくりとまちづくり(九度山町)
- ⑥ 地方都市のまちなか再生(和歌山市)
- ⑦ 高野山麓はしもとインターカレッジ・コンペディション2016(橋本市)

協働機関プロジェクト

- a 紀伊半島における地域再興の学修—都市・農山漁村の諸相に接する—(和歌山市、御坊市、日高町、日高川町)
- b いのちを守る都市づくり—コミュニティ防災実践—(御坊市、美浜町)
- c QOLプロモーション演習(広川町、日高川町など)
- d ものづくりと都市のあきないをつなげる学修(海南市)
- e 新宮市における生活困窮者自立支援法への対応(新宮市)
- f すさみ町における過疎地域活性化支援プロジェクト(すさみ町)
- g 「地域と私」由良町でのフィールドワーク(由良町)
- h きょう育の和(和歌山市)
- i ベンチャー講座(御坊市)
- j 田辺市での環境教育・環境学習事業(田辺市)

市	大阪市立大学	高	和歌山工業高等専門学校	関	関西大学
府	大阪府立大学	信	和歌山信愛女子短期大学	近	近畿大学
摂	摂南大学	和	和歌山大学	医	和歌山県立医科大学

プロジェクトi

ベンチャー講座

担当者	和歌山工業高等専門学校 赤崎雄一(総合教育科教授)ほか
活動場所	御坊市 (和歌山工業高等専門学校)
協働先	和歌山大学他

将来県内での起業を希望する学生もいることを想定し、起業するためには、技術力とともに経営等に関する知識が必要であることから、起業を目指すアントレプレナーに必要とされる基礎知識について実例を基に解説します。

プロジェクトg

「地域と私」由良町でのフィールドワーク

担当者	摂南大学 鶴坂 貴恵 (経営学部経営情報学科教授)
活動場所	由良町
協働先	由良町

「ソーシャル・イノベーション副専攻課程」配当科目「地域と私」の中で、和歌山県由良町でのフィールドワークを実施しています。過疎地域である由良町の実情を肌で感じつつ、課題発見と解決策立案を目指します。

プロジェクトf

摂南大学PBLプロジェクト 「すさみ町における過疎地域活性化支援プロジェクト」

担当者	摂南大学 浅野英一(外国語学部教授)
活動場所	すさみ町(旧佐本小学校)
協働先	すさみ町

すさみ町を活性化するために、学生が調査活動や実証活動を行っています。すさみ町における伝統的な祭りの復活、イベントの開催、独居老人宅への「お宅訪問」、廃校となった小学校での青少年育成キャンプなどを実施しています。

プロジェクトe

新宮市における生活困窮者自立支援法への対応

担当者	大阪府立大学 中山徹(地域保健学域教育福祉学類教授)
活動場所	新宮市
協働先	新宮市

従来から高齢者福祉の調査研究で対象としている新宮市で生活困窮者自立支援法への対応を調査し、大阪市北区での調査と比較し、平成27年度から実施する地域実践演習の参考とします。

プロジェクトd

自立・地域共生推進プロジェクト

担当者	和歌山大学 西川一弘(クロスカル教育機構生涯学習部門准教授)
活動場所	南紀熊野地域
協働先	Bookcafe kuju、NPO法人共育学舎、新宮市

このプロジェクトでは、地方の諸課題(進学に伴う若年層の流出)や特徴(豊かな自然資源)を多角的視点で捉え直し、豊かな自然資源を活用できる自立的な能力を持った人材を育成することを目的としています。